

✓ 防衛省・自衛隊では、令和2年度から再生可能エネルギー電力の調達を開始
同年6月RE100（再エネ100%）アンバサダーに就任し再エネ導入に向けた取組みを推進

✓ 令和3年度は、防衛省・自衛隊施設の約50%（約530施設）で再エネ電力を導入
うち約280施設では、再エネ比率100%を達成

✓ 再エネ電力の調達見込量は約6.3億kWh

➔ 防衛省・自衛隊で使用する電気の約50%が再エネで供給される計算

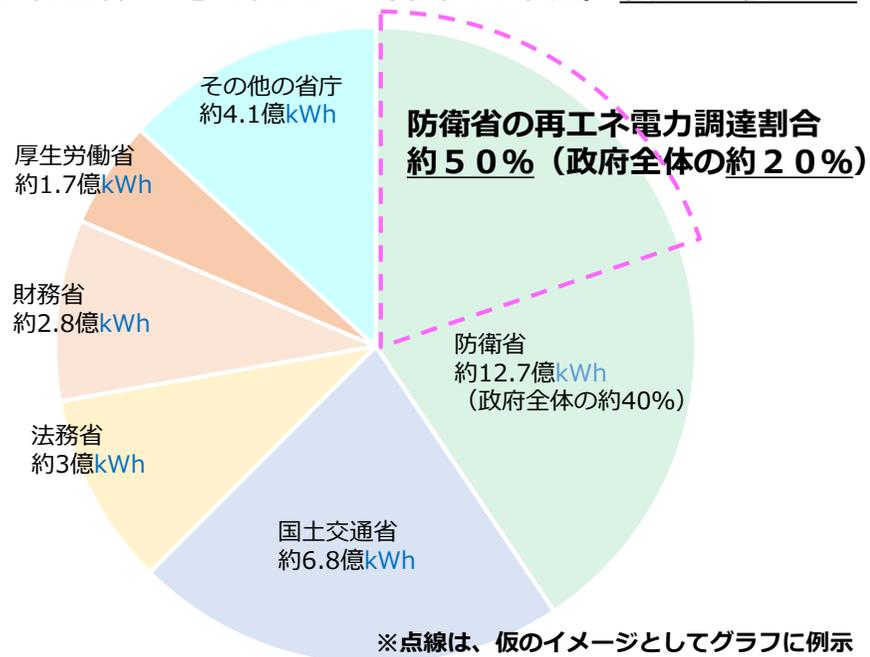
年間約12.7億kWh（政府全体の約40%）の電力を使用する防衛省・自衛隊として、
引き続き再エネ導入を進めていく

◆ 防衛省・自衛隊における再エネ導入の比較

	令和2年度		令和3年度
○再エネ導入施設数	151施設 (うち115施設が再エネ比率30%)	【約3.5倍】	528施設 (うち284施設が再エネ比率100%)
○再エネ電気調達見込量	91,346,463 kWh	【約6.8倍】	625,621,919kWh
○再エネ比率	約7.2%	【約6.8倍】	約48.8%
○再エネ導入見込施設における落札平均単価	約15.81円/kWh	【約0.14円/kWhの低下】	約15.67円/kWh

※令和3年度9月30日現在であり、今後変動する可能性がある。

◆ 政府全体の電力使用量（令和元年度）約31.2億kWh



※点線は、仮のイメージとしてグラフに例示